国際協力機構

JICAベトナム事務所
月報

第 194 号（2026 年 9 月号）
2026 年 10 月 16 日発行

本月報に関するご意見・ご要望は
vt_oso_rep@jica.go.jp までお送り下さい

Website（日・越・英）：
https://www.jica.go.jp/overseas/vietnam/index.html

Facebook（越）：
https://www.facebook.com/jicavietnam/

発行：JICA ベトナム事務所広報班

目次

- ベトナム・ゲアン省におけるさぬきニンニクの持続可能な生産に向けて ~農業機材供与が完了~ 1
- ベトナム代表団が日本の治水対策施設の現場を視察 2
- ベトナム国家農業大学でメタン発酵技術ワークショップを開催 ～循環型社会の実現に向けて成果と展望を共有～ 3
- 2026 年 カントー市「ベトナム・日本文化・貿易交流プログラム」に参加 4
- 「戦略的幹部研修プロジェクト」 森田専門家、ホーチミン国家政治学院から表彰 5
- JICA、フエ市の持続可能な都市発展に向ける協力を継続 6
- ラムドン省でハイテク農業区への道路整備事業の着工式 7
- JICA Biz から国際賞へ！ 小澤土木・橋本組が JAPAN コンストラクション国際賞を受賞 8
- 持続可能な都市交通管理について JICA 福田次長が HTV の取材に対応 9
- ベトナムの FTSE Russell による新興市場昇格を歓迎 10
- ベトナムの FTSE Russell による新興市場昇格後、機会と改革の優先課題について JICA 小島一伸専門家がメディア取材に対応 11

各プロジェクト情報の参考リンク 12

ベトナム・ゲアン省におけるさぬきニンニクの持続可能な生産に向けて ~農業機材供与が完了~



運搬車の使用方法を説明

2026 年 9 月、ベトナム国ゲアン省で実施中の「ベトナム国ゲアン省さぬきニンニクのバリューチェーン構築に係る普及・実証・ビジネス化事業（中小企業支援型）」において、提案企業であるファーマーズ協同組合（香川県）は、最後の供与機材となる農用運搬車の引き渡しを完了しました。

これにより全 10 種類の機材の供与が完了し、最後となる 3 回目のにんにく栽培のステージへと移行します。提案企業とゲアン省ナゴイ村の農家の皆さんは、新しく配備された農用運搬車や過去に供与したトラクター、小型耕運機を活用しながら土壌づくりを進め、日本での就労経験を持つ現地指導員とともに、「さぬきニンニク」の持続可能な生産モデル確立に向けた総仕上げに取り組んでいます。

ベトナム代表団が日本の治水対策施設の現場を視察



視察中のベトナム関係機関の代表者ら

2026 年 8 月 23～28 日にかけて JICA 技術協力プロジェクト「中部地域における洪水被害復旧および洪水対策マスタープラン策定」の一環として、ベトナム農業環境省をはじめとする関係機関（財務省、商工省、ダナン市）代表者が来日し、日本の治水対策および流域管理に関する先進的な取組を視察しました。

代表団は、新潟県の信濃川流域および大阪府・京都府の淀川流域を訪問し、分水路および分派堰、ダム、河口堰などの治水施設を視察するとともに、流域全体を対象とした総合的な洪水管理や防災・減災対策について理解を深めました。

本視察を通じて得られた知見は、ベトナム中部のヴーザー・トゥーボン川流域における洪水対策マスタープランおよび洪水被害復旧計画の策定・検討に活用されることが期待されています。

JICA は今後も、日本とベトナムの知見や経験の共有を通じて、ベトナムにおける気候変動に強靭な社会の実現と災害リスクの低減に貢献してまいります。

詳細は、農業環境省 堤防管理・防災局のベトナム語の Web サイトおよび Facebook の投稿でもご覧いただけます！

Web サイト記事

Facebook 記事

ベトナム国家農業大学でメタン発酵技術ワークショップを開催

2026 年 9 月 16 日、JICA が実施する中小企業・SDGs ビジネス支援事業「一般廃棄物を用いたメタン発酵発電及び有機肥料生成の普及・実証・ビジネス化事業」の総括に向けた取り組みとして、ベトナム国家農業大学（VNUA）でメタン発酵技術ワークショップが開催されました。JICA ベトナム事務所、農業環境省関係機関、VNUA の教職員・研究者、肥料関連企業、農業・畜産関係者などが参加し、これまでの実証成果を共有するとともに、技術普及や事業化に向けた課題と展望について意見交換を行いました。

本事業では、株式会社トーヨー冨士エおよび株式会社トーヨーエネルギーソリューションが VNUA と連携し、食品廃棄物や家畜ふん尿、一般廃棄物を活用したメタン発酵技術の実証を進めています。実証を通じて、有機性廃棄物をエネルギーと有機肥料へ転換する循環型システムの有効性を検証するとともに、VNUAを研究・教育・普及活動の拠点として機能強化することを目指しています。

また、JICA は VNUA に BMP（Biochemical Methane Potential）測定装置や小型メタン発酵実証ユニットを供与したほか、2026 年 2 月には教員を対象とした本邦研修を実施し、施設運営や維持管理に関する知見の共有と人材育成にも協力しました。BMP 測定装置は、有機性廃棄物のメタン生成能力を評価し、発電量予測や施設設計に必要な基礎データの取得を可能にするものです。今後は、本事業で得られた知見を活用し、小規模・中規模のメタン発酵モデルの普及を通じて、ベトナムにおける循環経済の推進と持続可能な資源循環型社会の実現に貢献していきます。



資機材引渡し式の様子
写真：Báo Nhân Dân（人民新聞）

2026 年 カントー市「ベトナム・日本文化・貿易交流プログラム」に参加



ウナギ養殖管理システムを説明

2026 年 9 月 11～13 日にかけて、JICA はカントー市のルウ・フウ・フオック公園で開催された「ベトナム・日本文化・商業交流プログラム 2026」に参加しました。JICA が本イベントに独自ブースを出展するのは 2 回目で、日本人職員や専門家、ベトナムで活動する JICA 海外協力隊員 6 名とともに、日越協力の成果を紹介する展示や交流活動、文化体験を実施しました。

今年は、人材育成、農業・気候変動対策、インフラ整備、草の根協力、民間連携の 5 分野を中心に協力事業を紹介しました。特に、JICA と 50 年以上にわたり協力関係を築いてきたカントー大学との技術協力プロジェクト（CTU TC2）の成果として、マンゴー、アヒル、ウナギに関する研究や、環境センサーを活用した養殖管理システムなど、メコンデルタ地域の持続可能な発展に向けた取り組みを紹介し、多くの来場者の関心を集めました。

また、カントー橋をはじめとする JICA 支援による交通インフラ整備の成果も紹介され、地域間の連結性向上やカントー市のハブ機能強化への貢献について理解を深める機会となりました。本イベントを通じて、JICA は日越両国民の相互理解と交流の促進を図るとともに、カントー市およびメコンデルタ地域の持続可能な発展に向けた協力成果を広く発信しました。

「戦略的幹部研修プロジェクト」森田専門家、ホーチミン国家政治学院から表彰

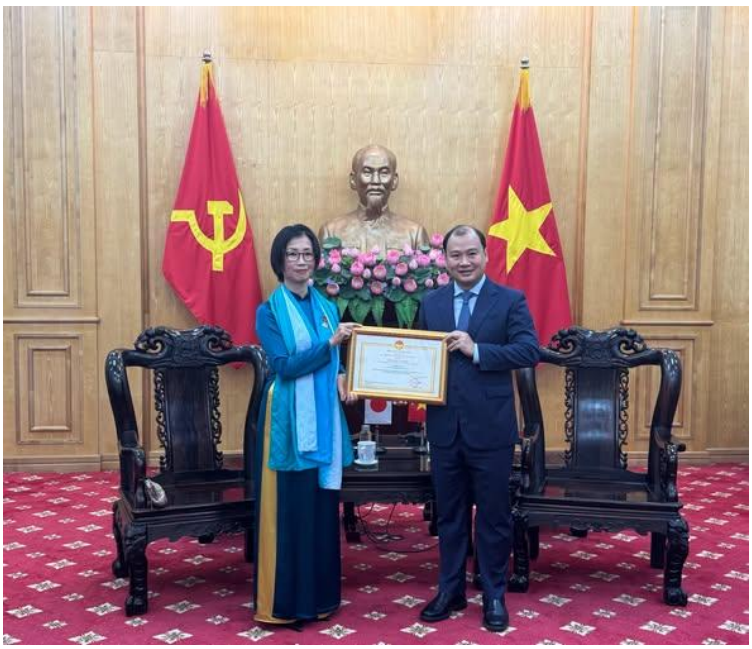
2018 年 9 月より実施してきた JICA 技術協力プロジェクト「戦略的幹部研修プロジェクト」が、2026 年 9 月をもって終了を迎えました。

プロジェクトの終了に際し、2019 年 5 月から同プロジェクトのチーフアドバイザーを務めた森田裕子専門家が、配属先であるホーチミン国家政治学院（HCMA）より表彰を受けました。

同表彰は、ホーチミン国家政治学院の教育・研究活動及び組織発展に顕著な貢献を行った個人に授与されるものであり、森田専門家による長年の尽力と成果が高く評価されたものです。

森田専門家は、ベトナム共産党及び政府の次世代リーダー育成を目的とした本プロジェクトにおいて、HCMA をはじめとする関係機関と緊密に連携し、研修制度の改善や人材育成の強化に取り組んできました。

JICA は今後も、ベトナムの持続的な発展を支えるガバナンス分野において、ベトナム政府・関係機関との協力を引き続き推進していきます。



Lê Hải Bình 副学院長(右)表彰を受ける森田専門家(左)

JICA、フエ市の持続可能な都市発展に向けた協力を継続



取材を受ける小林所長

9 月 5～6 日にかけてフエ市で開催されたベトナム・日本地方協力フォーラムに際し、JICA ベトナム事務所小林所長は世界とベトナム新聞（The World & Vietnam Report – WVR）の取材に応じました。、都市インフラ、環境、防災・災害リスク管理などの分野における JICA とフエとの長年にわたる協力の成果について紹介しました。

また、JICA は今後もフエ市民の生活の質の向上を支援するとともに、災害に強く環境に配慮した持続可能な都市づくりに向けた協力を継続していきます。

詳細は、WVR ウェブサイトに掲載されたインタビュー動画（英語）をご覧いただけます。

WVR ウェブサイト

ラムドン省でハイテク農業区への道路整備事業の着工式

2026 年 9 月 26 日、ラムドン省ドゥックチョン県において、「ラムドン省農業開発インフラ整備事業（フェーズ 1）」の一環である T-14 サブプロジェクトの起工式が開催されました。式典には、地方政府関係者、事業実施機関、地域住民などが参加しました。

本サブプロジェクトでは、ドゥックチョン地区とタナン地区のハイテク農業地域を結ぶ延長約 18.4 キロメートルのアクセス道路と、全長 25 メートルの鉄筋コンクリート橋を建設します。道路は山岳部道路 4 級基準に基づいて整備され、既存の未舗装道路に代わる安全かつ利便性の高い交通網の形成が期待されています。

総事業費は約 2,400 億ドン（約 14.54 億円）で、このうち約 2,030 億ドン（約 12.30 億円）※は JICA による円借款の資金協力となります。事業完成後は、農業生産地域とハイテク農業地域の連結性向上、農産物や生産資材の輸送効率化、物流機能の強化を通じて、地域農業の近代化を後押しする見込みです。

※2026 年 10 月の JICA 換算レートに基づき換算。



工事の順調な進捗を願う出席者

JICA Biz から国際賞へ！
小澤土木･橋本組が JAPAN コンストラクション国際賞を受賞



鋼矢板が圧入され、駅ホームに続くスロープ建設時の様子
写真：JICA ウェブサイト

2026 年 9 月 3 日、株式会社小澤土木・株式会社橋本組（静岡県）の「サイレントパイラーを用いた圧入工法によるアースダム・堤防の防災技術に関する案件化調査」（JICA BIZ 事業）を含む取り組みが、海外で先導的に活躍する中堅・中小建設企業を表彰する第 9 回 JAPAN コンストラクション国際賞（中堅・中小建設企業部門）を受賞しました。

この取り組みは、JICA とベトナム政府が進める GX・グリーン成長・気候変動対策や気候変動適応策の推進に、防災技術という観点から合致するものとして期待されています。2026 年 3 月 18 日に在ベトナム日本大使館・JICA・ベトナム財政省の共同で開催された「グリーン成長及び気候に対する強靭性のための GX プログラムローン（GX-DPL）に関するハイレベル・フォーラム」においても本技術が紹介されるなど、今後の社会実装が期待されています。

JICA は今後も、ベトナム政府および多様な関係者と緊密に連携し、ベトナムのカーボンニュートラル、気候変動に強靭かつ持続可能な未来への移行への協力をしていきます。

株式会社小澤土木・株式会社橋本組の皆さま、このたびのご受賞、誠におめでとうございます！

▼関連記事

JICA Biz の優良事例を紹介

ベトナム向け円借款貸付契約の調印

第 9 回 JAPAN コンストラクション国際賞

持続可能な都市交通管理について JICA 福田次長が HTV の取材に対応

HTV の取材に応じ、JICA ベトナム事務所の福田次長は、持続可能な都市交通管理をテーマに見解を述べました。

スマート技術の進展は、都市交通分野におけるさまざまな課題への対応を可能にしています。一方で、技術は目的そのものではなく、安全性、効率性、包摂性、持続可能性を備えた交通システムおよび都市環境の構築を実現するための重要な手段です。

HTV のビデオはこちらです。

HTV の動画（ベトナム語）



取材を受ける福田次長
写真：HTV

ベトナムの FTSE Russell による新興市場昇格を歓迎

JICA は、9 月 21 日からの FTSE ラッセルによるベトナム株式市場のフロンティア市場からエマージング市場への格上げを歓迎します。これは、ベトナム資本市場の発展と国際統合における重要な節目となるものです。

この成果は、市場の透明性、投資家のアクセス性、国際的な連結性の向上に向けた長年にわたる改革の積み重ねによって実現したものです。

JICA は日本の ODA 再開（1992 年）以降、政策対話、技術協力、人材育成を通じてベトナムの資本市場の発展を支援してきました。過去約 25 年間にわたり実施された研修では、ベトナム国家証券委員会（SSC）や証券取引所で活躍する多くの人材の育成に貢献しています。

また、2019～2023 年に実施された技術協力プロジェクトでは、市場監視機能の強化、情報開示の改善、投資家保護の推進、証券法施行支援などを通じて、市場の公正性と透明性の向上を後押ししました。現在は後継プロジェクト（2024～2027 年）の下で、市場の効率性向上やリスクベース監督の強化に取り組んでいます。

FTSE ラッセルによるベトナム株式市場のエマージング市場への格上げは、国際的な評価向上や海外投資資金の流入拡大につながることが期待されています。JICA は今後も、透明性が高く効率的で持続可能な金融市場の構築に向け、ベトナムとの協力を継続していく方針です。



プロジェクトのキックオフミーティングにおける JICA 代表者及び SSC の方々

ベトナムの FTSE Russell による新興市場昇格後、機会と改革の優先課題について JICA 小島専門家がメディア取材に対応

FTSE ラッセルによるベトナム株式市場のフロンティア市場からエマージング市場への格上げが 9 月 21 日に発効し、市場は新たな段階を迎えました。外国資金の流入拡大への期待に加え、市場の質や構造にどのような変化をもたらすのか、また長期的な海外投資を呼び込むために必要な改革についても注目が集まっています。

ベトナムニュース（Việt Nam News）は、JICA プロェクトのアドバイザーであり、大和総研の小島専門家に対し、今回の格上げがもたらす影響や今後の改革課題、ならびにエマージング市場入り後にベトナムが直面する主なリスクについて話を聞きました。

記事の英語版は以下のリンクからご覧いただけます。

記事リンク



取材を受ける小島専門家

各プロジェクト情報の参考リンク

・実施中プロジェクト一覧 ｜ 海外での取り組み – JICA
技術協力・円借款・無償資金協力の実施中案件リスト、草の根技術協力事業実施中案件リスト、JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業案件リスト

・ボランティア ｜ 海外での取り組み – JICA
現在派遣中のボランティア隊員の配置図

・Pamphlet ｜ 海外での取り組み – JICA
JICA ベトナム事務所作成のパンフレット一覧

・ODA マップ（日越語版）
ベトナム ODA プロジェクト・マップ（ハノイ・ホーチミン市）（2026 年 2 月）日本語・ベトナム語版

・ODA マップ（英越語版）
ベトナム ODA プロジェクト・マップ（ハノイ・ホーチミン市）（2026 年 2 月）英語・ベトナム語版